

氏名

次の資料にもとづいて、貸借対照表および損益計算書（一部）を作成しなさい。なお、当期の会計期間は×7年4月1日から×8年3月31日である。また、減価償却の記帳は直接法に拠っているが、貸借対照表は間接控除方式で示すこと。

## 【資料1】 決算整理前残高試算表（一部）

残高試算表		(単位:円)
×8年3月31日		
建物	29,840,000	
備品	172,800	
車両運搬具	1,200,000	
のれん	162,000	

## 【資料2】 決算整理事項

## 1. 建物

- (1) 建物のうち 10,000,000 円は当期 7 月 1 日に取得したものであり、定額法、耐用年数 25 年、残存価額ゼロの月割計算で減価償却の計算を行う。
- (2) (1)以外の建物については、前期末までの経過年数が 28 年であり、定額法、耐用年数 50 年、残存価額は取得原価の 10%で減価償却の計算を行う。

## 2. 備品

備品の前期末までの経過期間は 3 年であり、200%定率法、耐用年数 5 年で減価償却の計算を行う。なお、保証率 0.10800、改定償却率 0.500 である。

## 3. 車両運搬具

車両運搬具は当期 8 月 1 日に取得したものであり、生産高比例法、残存価額は取得原価の 10%、総見積走行可能距離 80,000 km、当期の走行距離 12,500 kmで減価償却の計算を行う。

## 4. のれん

のれんは×3年4月1日に他企業を買収した際に発生したものであり、10年で償却を行っている。

## 貸借対照表

×8年3月31日 (単位:円)

II 固定資産	
1. 有形固定資産	
建物	( )
減価償却累計額	( ) ( )
備品	( )
減価償却累計額	( ) ( )
車両運搬具	( )
減価償却累計額	( ) ( )
2. 無形固定資産	
のれん	( )

## 損益計算書

自×7年4月1日 至×8年3月31日

III 販売費及び一般管理費	
(単位:円)	
1. 減価償却費	( )
2. のれん償却	( )